

平成25年9月定例会会議録（第3号）

平成25年9月9日 月曜日 午前10時00分開議

小 関 勝 助 議 長 大 道 寺 信 副議長

出 席 議 員 （16名）

1番	赤 間 泰 広	議員	2番	梅 津 善 之	議員
3番	江 口 忠 博	議員	4番	今 泉 春 江	議員
5番	小 関 秀 一	議員	6番	竹 田 博 一	議員
7番	我 妻 昇	議員	8番	大 道 寺 信	議員
9番	蒲 生 光 男	議員	10番	町 田 義 昭	議員
11番	佐々木 謙 二	議員	12番	安 部 隆	議員
13番	渋 谷 佐 輔	議員	14番	高 橋 孝 夫	議員
15番	大 沼 久	議員	16番	小 関 勝 助	議員

欠 席 議 員 （0名）

説 明 の た め 出 席 し た 者

内 谷 重 治	市 長	遠 藤 健 司	副 市 長
中 井 晃	総 務 課 長	齋 藤 環 樹	財 政 課 長
鈴 木 一 則	企 画 調 整 課 長	青 木 邦 彦	税 務 課 長
松 本 弘	市 民 課 長	梅 津 明 夫	健 康 課 長
松 木 幸 嗣	福 祉 生 活 あ ん し ん 課 長	種 村 正 一	子 育 て 支 援 課 長
平 英 一	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	堀 越 俊 一 郎	監 査 委 員
加 藤 弘 二	教 育 委 員 長	加 藤 芳 秀	教 育 長
遠 藤 誠 一	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	鈴 木 榮 一	農 業 委 員 会 会 長
孫 田 邦 彦	農 林 課 長	梅 津 和 士	商 工 振 興 課 長
鈴 木 広 弥	観 光 振 興 課 長	宇 津 木 正 紀	建 設 課 長
浅 野 敏 明	ま ち ・ 住 ま い 整 備 課 長	渡 部 政 明	上 下 水 道 課 長
	管 理 課 長 兼		
遠 藤 敏 男	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長	齋 藤 理 喜 夫	文 化 生 涯 学 習 課 長
佐 藤 孝 博	生 涯 ス ポ ー ツ 課 長	高 橋 徹	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長
児 玉 行 宏	監 査 委 員 事 務 局 長	鈴 木 隆 政	農 業 委 員 会 事 務 局 長

鈴木 智 消防主幹

事務局職員出席者

飯澤 常雄 議会事務局長
鈴木 和夫 議事調査係長
小林 克人 補佐
小川 由美 庶務係長

議事日程（第3号）

平成25年9月9日 月曜日 午前10時00分開議

日程第 1 市政一般に対する質問

6番 竹田 博一 議員
7番 我妻 昇 議員
5番 小関 秀一 議員
8番 大道寺 信 議員
2番 梅津 善之 議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第3号）に同じ

開 議

○小関勝助議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○小関勝助議長 日程第1、市政一般に関する質問を6日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

竹田博一議員の質問

○小関勝助議長 順位6番、議席番号6番、竹田博一議員。

(6番竹田博一議員登壇)

○6番 竹田博一議員 おはようございます。

昨日の早朝に、2020年夏のオリンピック、そしてパラリンピックの開催都市が東京と決定されました。7年後にはオリンピックを観戦したいものだなというふうに思っているところでございます。そして、日本経済と景気がよくなる弾み車となることを期待するものであります。

それでは、通告しております2点について質問いたします。

長井市学童クラブ事業について伺います。

学童クラブは、児童福祉法で放課後の児童健全育成事業として位置づけられ、保護者が労働などのために留守になる家庭の児童に遊びと生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ることを目的としています。授業終了後、長期休暇の場合は午前中から、指導員の保育のもとで宿題をしたりおやつを食べたり遊んだりして、仕事を終えた保護者が帰宅するまでの時間を過ごすものです。共働きやひとり親家庭の自主的な保育活動として始まったとされています。戦後の高度経済成長における女性の社会進出に伴う共働き家庭の増加と核家族化の進行により鍵っ子が増加したことから、学校外における児童の教育の受け皿としての需要が高まり、放課後児童健全育成事業を行う第二種社会福祉事業として法制化されました。また、少子化対策、子育て支援事業の一つに位置づけられております。

長井市においても、その活動が活発に実施されておりますので、以下4点について質問いたします。

平成24年度成果報告書では、学童クラブ利用児童数は致芳23人、西根9人、平野23人、豊田21人、伊佐沢5人、中央143人、その他うえるキッズ30人の利用であります。平成17年当時から見ると、年ごとに利用者がふえていると思います。現状と今後の推移はどのように予想されるのかお伺いします。

また、定員増をどのように対処していくのかを伺います。もしふえるとしたら、空間環境問題や安全確保が重要な問題として予想されますが、どのように対処していくのかをお伺いします。

事業の目的では保護者が留守になる家庭が対象とされていますが、どのような手続を行って入所されていますか。入所希望児童の選択要件の実態についてお伺いいたします。

次に、2番目の平成26年から平成35年までの